

R & D部門のデータ共有・利活用 (MI, AI) のための データ共有システム構築と進め方

◆日時: 2025年02月14日(金) 10:30~16:30

◆会場: 【WEB限定セミナー】※在宅、会社にながらセミナーを受けられます

◆聴講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき**49,500円(税込)**・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で55,000円(税込))**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: (株)キャトルアイ・サイエンス 代表取締役 上島 豊 氏

IoT等で製造工程以降のデータ利活用は、急激に進展しています。一方、公的研究機関であれ、民間企業であれ、R&D部門におけるデータの取り扱い、属人的のままであり、効果的な利用、活用が殆ど進んでいないのが実態です。R&D部門は技術の源泉であり、データを精緻に管理し、効果的な利用、活用を行うことは、今後の競争力にとって不可欠です。本講演では、まず、R&D部門のデータ蓄積の実情をお話させていただき、そのような状況がなぜ生まれているのか? そのような状況にはどのような問題を孕んでいるのか? を説明させていただきます。次に、研究・実験データ、主にExcelの共有、利活用状況を改善するためには、データ探索、分析を意識したデータ蓄積が重要であることを説明させていただき、具体的にどのような点に注意をして、研究・実験データのExcelでの蓄積と分析を行っていくべきかを論じます。最後に、データ共有システム、データベースを導入する場合の陥りがちな落とし穴とそれを防ぐ方策に関して、解説します。

0. 会社紹介、講師紹介

1. R&D部門のデータ蓄積の実情

1-1 R&D部門のデータ共有状況

1-2 属人的データ蓄積状況が生み出される原因

1-3 属人的データ蓄積状況が引き起こす問題

2. 属人的データ蓄積状況を改善するために必要な方策

2-1 属人的データ蓄積状況を脱するために必要な方策

2-2 データ探索、分析を意識したデータ蓄積方法

2-3 蓄積されたデータを使ったデータ分析方法

2-4 データ共有、利活用状況を改善するために必要なプロジェクトチームの作り方

3. 陥りがちな落とし穴とそれを防ぐ方策

3-1 データ蓄積、DB化着手時に陥りがちな落とし穴とそれを防ぐ方策

3-2 データ蓄積、DB化後に陥りがちな落とし穴とそれを防ぐ方策

『データ共有【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール☐ 郵送

● Webセミナーの受講申込みにについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールにお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>